

有限会社 瀬戸生花

対象類型	製造環境
事業類型	一般型・先端設備導入計画の認定取得
主たる目的	生産性向上

需要期に対応する生産・仕入れ安定化の為に 高鮮度保存「鮮温保管システム」構築



- 1 1/100%近い湿度と1-2℃の温度に高精度に管理された「鮮温保管システム」の鮮温庫で長期間保存される生花
- 2 新たに導入された鮮温庫。出入口に段差がなく作業の負担も少ない
- 3 従業員が丹精こめ花を栽培している農園
- 4 花束などの製品を加工する従業員

生花を“冬眠状態”に高精度に管理し、保存期間を大幅に延長。

瀬戸生花は生花の生産から加工、生花卸、販売までを一貫して手がけている。2018年の雪害では所有するハウスの約8割が倒壊し、その後は盆と正月、春と秋の彼岸の需要期に花の生産を集中する体制に移行してきた。しかし需要期には①既存の冷蔵設備では花の長期保管が困難②収穫や加工が集中して長時間労働となり人件費負担も大きい③花の仕入れ価格が高騰する一ことが課題となっていた。

そこで生花の鮮度を長期間保持できる「鮮温保管システム」を備えた鮮温庫を導入。同設備では100%近い湿度と1-2℃の温度を高精度に管理して花を冬眠状態とし、通常は2週間程度の花の鮮

度保存期間を4週間以上に延ばせる。花が長寿命化したことで、収穫した花や仕入れた花、加工した花束などの製品を長期保管できるように。需要期に向けて早い段階から収穫や加工作業を分散して行え、従来は直前に発生した長時間勤務や、パート従業員の短期雇用が不要となり人件費も抑制された。

また価格高騰の前に花を仕入れることで、仕入れコストの安定化も図れた。需要期の作業負担が軽減され、特に社員の7割を占める女性従業員のワークライフバランスの実現や離職防止にも大きく貢献した。

注目すべき 成果

コストダウンとともに
加工製品の品質も向上。

需要期に集中していた作業を分散でき、人件費や仕入れコストの削減でコストダウンを実現。加えて、花束などの加工作業を熟練した既存社員が担えるようになって品質も高まり、クレームや返品が激減した。

事業活動の 付加価値

女性社員の
モチベーションが向上。

需要期に仕事が集中することで発生した深夜に及ぶ長時間勤務の負担がほぼなくなり、女性従業員が働きやすい環境となった。設備導入後は社員離職もなく、仕事への意欲が高まり、職場の活力アップにつながっている。

今後の展望

需要期以外の
市場開拓にも
意欲的に取り組む。

業務の平準化・効率化で生まれた余裕を生かし、洋花の花束など普段の暮らしを彩る製品の販売にも力を注いでいく。ふるさと納税の返礼品や、地元他業種とのコラボで、需要期以外の市場の開拓にも意欲的に取り組む。

ものづくり専門員から一言

労働条件の改善による 雇用環境の安定化

本事業において「鮮温保管システム」を構築し、需要期に合わせた生花の仕入や保管が可能となり、鮮度を保つことで品質向上及び付加価値の向上につながっている。女性従業員の活躍が顕著で、離職率が低いのも同社の魅力の一つと言える。

こんな会社です！

「花はこころのごちそうです」が経営理念。

当社はキク栽培の農家として創業し、現在も栽培部門の「せと農園」で花を一から育てています。だから一本一本の花を大切に扱い、それぞれの花の良さを生かして加工し、より良い花を提供することに努めています。ふるさと納税でお届けするアレンジメントは一点一点お客様の好みをしっかり聞いてお作りし、スーパーや量販店では、現場で接したお客様の要望を反映して、花のことを良く知る自社スタッフが商品を選んで売り場を作り上げています。受け取った方に笑顔の花が咲くような製品お届けし、花のある生活を応援しています。



代表取締役
瀬戸 誠市 さん



社員が一本一本大切に扱っている生花



本社

有限会社 瀬戸生花

代表者／代表取締役 瀬戸 誠市
設立／1999年（平成11年）11月11日
資本金／300万円
従業員数／8名
事業内容／生花加工・卸業、生花（全般）販売、
花鉢販売、慶弔花輪代理店
売上高／1億3,500万円（2022年9月期）

本社：〒919-0503 坂井市坂井町長屋70-3
TEL.0776-50-1878 FAX.0776-50-1879

E-mail setoseika@lake.ocn.ne.jp

URL https://setoseika.com